

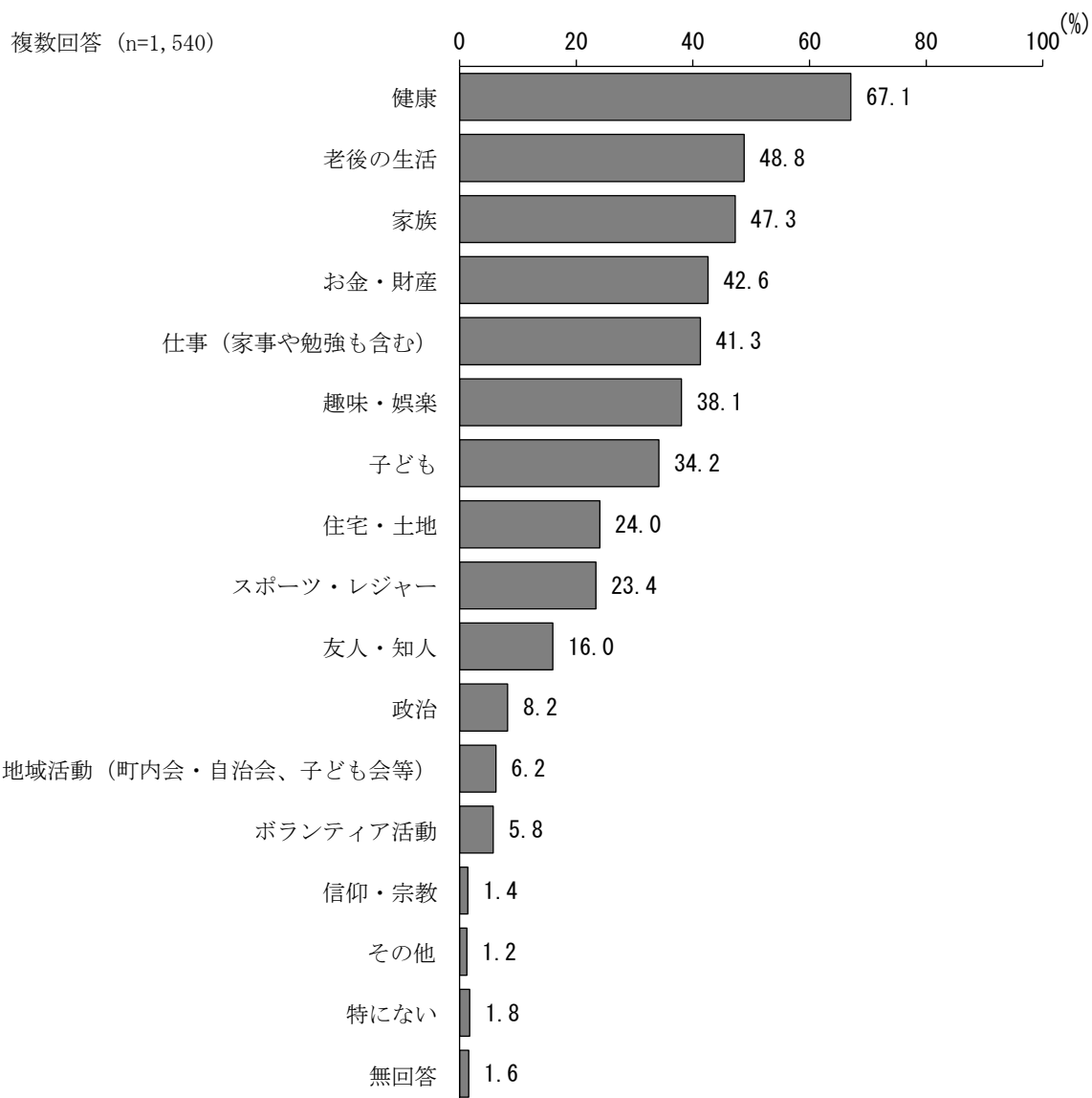
### 3 関心ごとと行動範囲について

#### 3-1 関心を持っていること

◎「健康」が67.1%

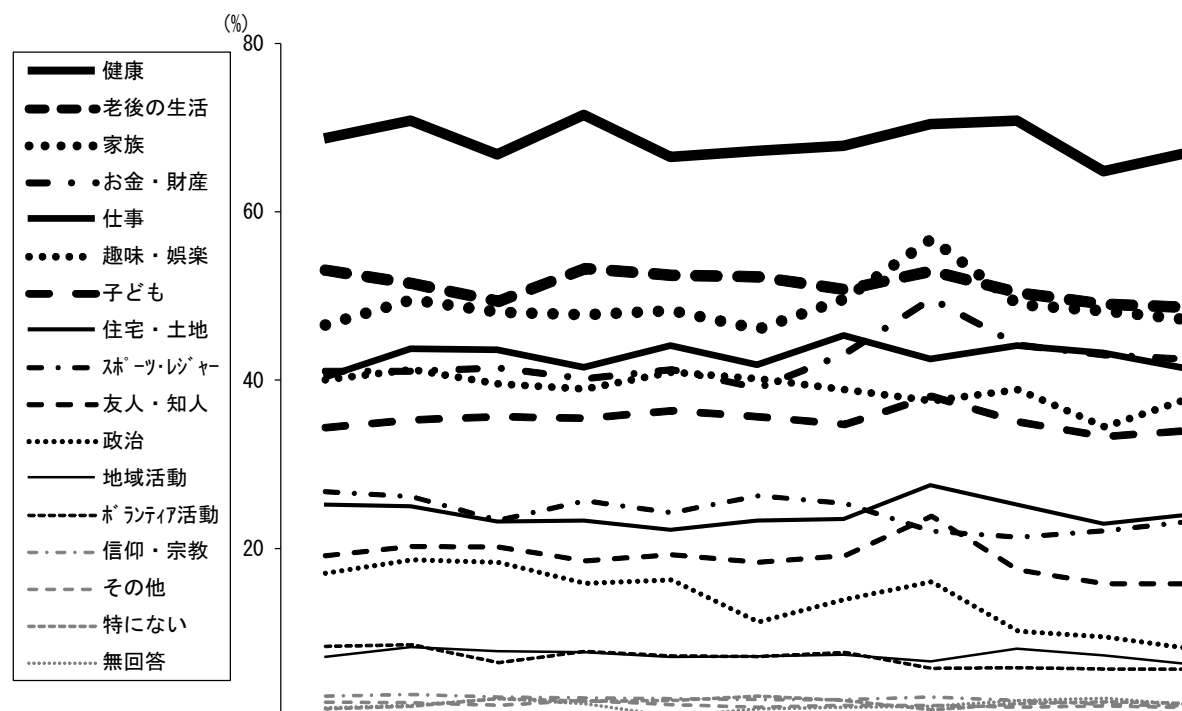
問7. あなたが、現在特に関心をお持ちのことは何ですか。(〇はいくつでも)

図表3-1 関心を持っていること



関心を持っていることは、「健康」(67.1%)が最も高く、次いで、「老後の生活」(48.8%)、「家族」(47.3%)、「お金・財産」(42.6%)、「仕事(家事や勉強も含む)」(41.3%)の順となっている。

図表3-2 関心を持っていること（経年比較）

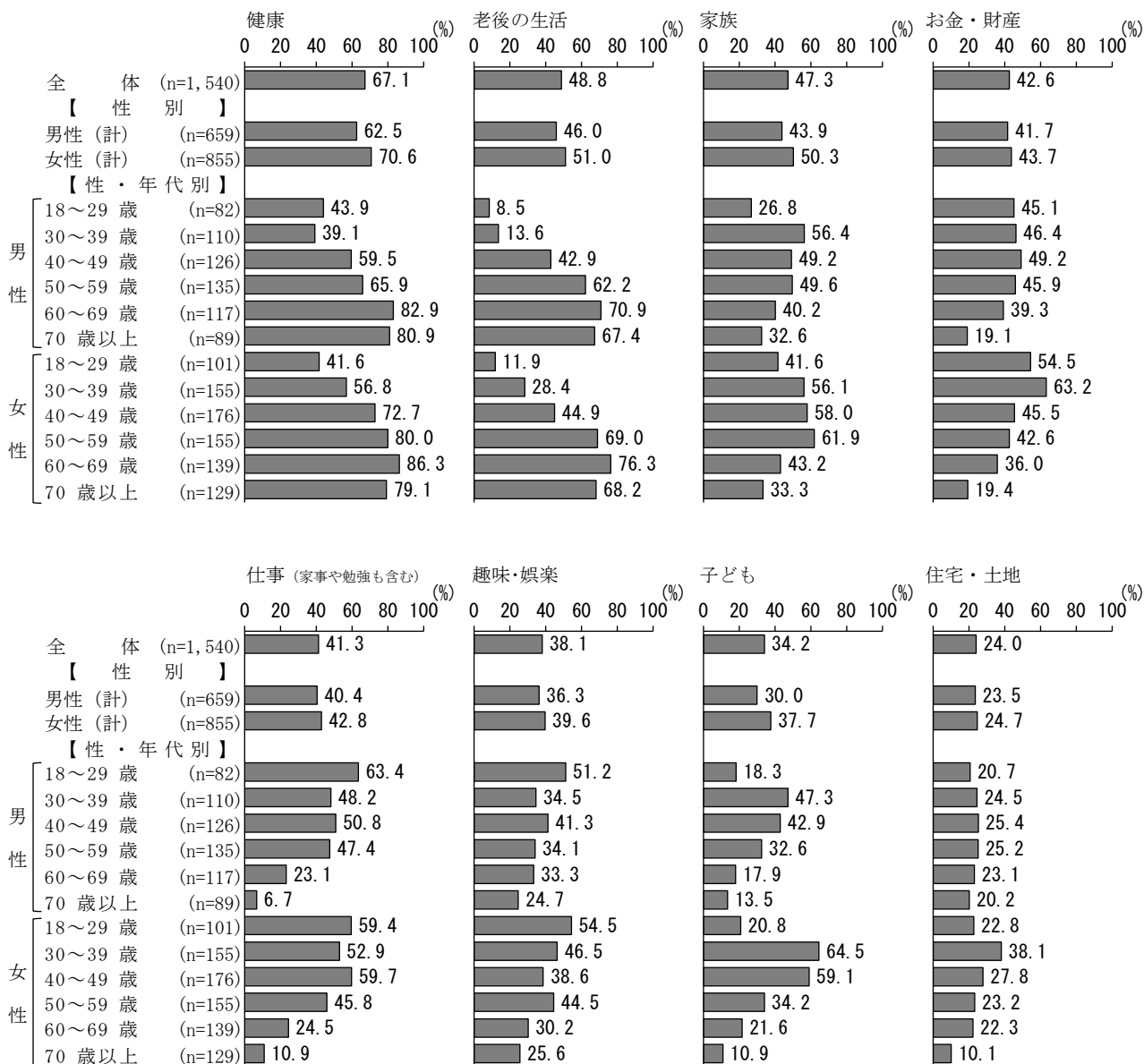


	平成 20年	平成 21年	平成 22年	平成 23年	平成 24年	平成 25年	平成 26年	平成 27年	平成 28年	平成 29年	平成 30年
健康	68.7	70.8	66.8	71.5	66.5	67.2	67.8	70.4	70.8	64.8	67.1
老後の生活	53.2	51.6	49.5	53.4	52.6	52.4	50.9	53.1	50.5	49.2	48.8
家族	46.7	49.7	48.2	47.9	48.4	46.2	49.8	56.9	49.1	48.4	47.3
お金・財産	41.2	41.2	41.6	40.3	41.4	39.2	43.3	49.8	44.3	43.1	42.6
仕事	40.3	43.7	43.6	41.5	44.1	41.8	45.3	42.5	44.1	43.2	41.3
趣味・娯楽	40.2	41.4	39.7	39.1	41.1	40.3	39.0	37.7	39.0	34.6	38.1
子ども	34.5	35.4	35.8	35.6	36.5	35.8	34.9	38.2	35.2	33.5	34.2
住宅・土地	25.2	25.0	23.2	23.3	22.2	23.3	23.5	27.5	25.2	22.9	24.0
スポーツ・レジャー	26.9	26.3	23.5	25.8	24.4	26.4	25.5	22.2	21.5	22.2	23.4
友人・知人	19.3	20.4	20.3	18.7	19.4	18.5	19.3	24.0	17.6	16.0	16.0
政治	17.2	18.8	18.5	16.0	16.4	11.4	14.1	16.2	10.3	9.6	8.2
地域活動	7.1	8.3	7.8	7.7	7.1	7.2	7.4	6.6	8.1	7.3	6.2
ボランティア活動	8.5	8.7	6.6	7.9	7.4	7.3	7.8	5.9	6.0	5.8	5.8
信仰・宗教	2.6	2.8	2.5	2.4	2.3	2.2	2.2	2.5	2.1	1.6	1.4
その他	1.9	1.8	1.5	2.1	1.6	1.3	1.5	1.5	1.3	1.4	1.2
特になし	1.1	1.4	2.3	2.0	2.1	2.6	2.1	1.0	1.7	1.9	1.8
無回答	1.2	1.5	2.3	1.7	0.2	1.1	1.3	1.4	2.1	2.4	1.6

平成20年度からの推移をみると、「健康」が最も高く、これに「老後の生活」と「家族」を加えた3項目が、常に関心度上位3項目となっている。

その他の項目については、「政治」、「ボランティア活動」は漸減傾向となっている。

図表3-3 関心を持っていること(性/年齢別、上位8項目)



性/年齢別では、「健康」は、男性は60~69歳と70歳以上、女性は50歳以上の年代で特に高い。

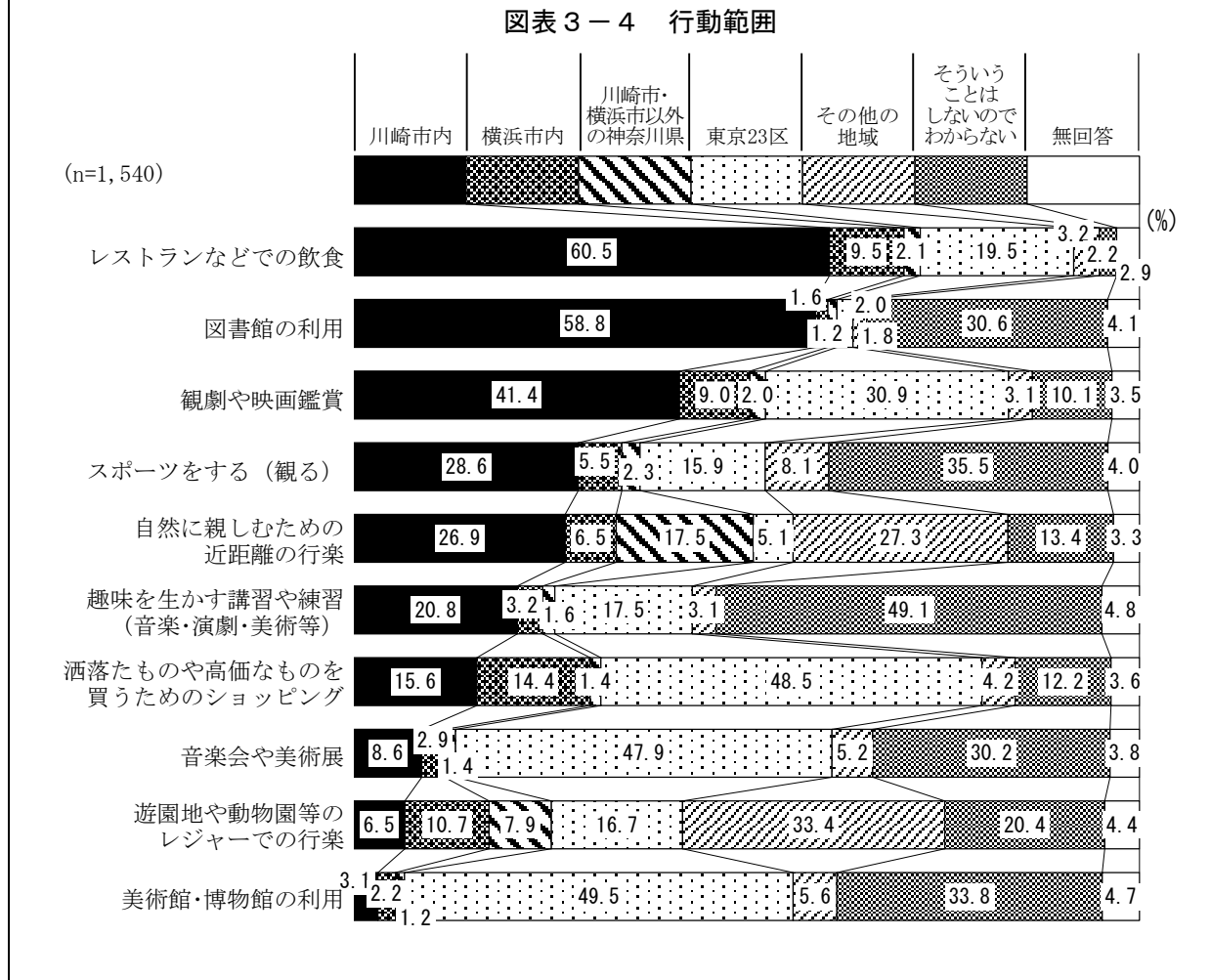
「老後の生活」は、男女ともに50歳以上の年代で高くなっており、男性は60~69歳(70.9%)が最も高く、女性も60~69歳(76.3%)が最も高い。

「家族」は、男女ともに30~39歳、40~49歳、そして50~59歳で高い。

### 3-2 行動範囲

◎『川崎市内』が最も高いのは、「レストランなどでの飲食」で60.5%

問8. あなたは、行楽や文化施設の利用・買い物などをされる場合、主にどこに行かれますか。それぞれの項目ごとにお答えください。(〇はヨコに1つずつ)

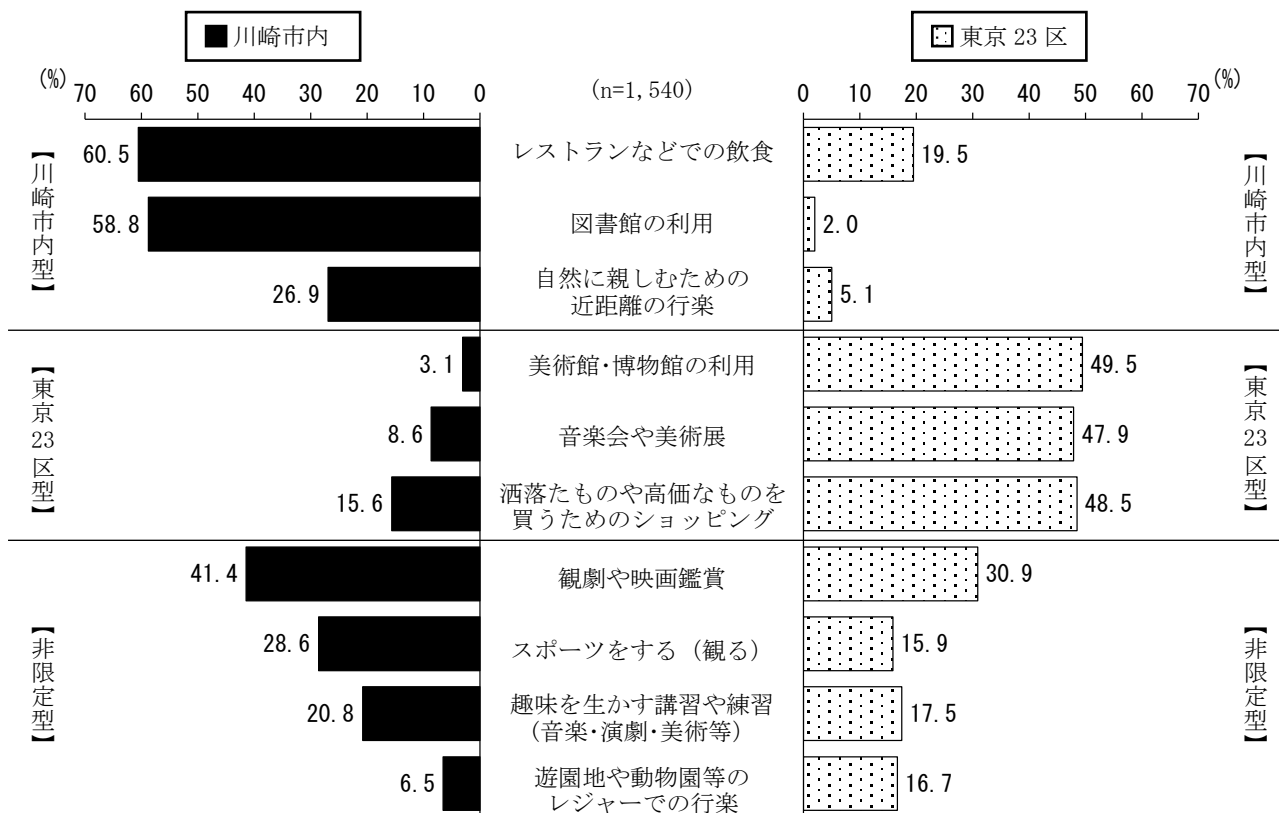


川崎市民の行動範囲で『川崎市内』が最も高いのは、「レストランなどでの飲食」(60.5%)で、次いで、「図書館の利用」(58.5%)、「観劇や映画鑑賞」(41.4%)の順となっている。

『川崎市内』以外で利用率が高いのは、『東京23区』の「美術館・博物館の利用」(49.5%)、「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」(48.5%)、「音楽会や美術展」(47.9%)となっている。

上記以外について、「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」と「自然に親しむための近距離の行楽」では『その他の地域』が、それぞれ33.4%、27.3%で最も高く、「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」と「スポーツをする(観る)」では『そういふことはしないのでわからない』が、それぞれ49.1%、35.5%で最も高くなっている。

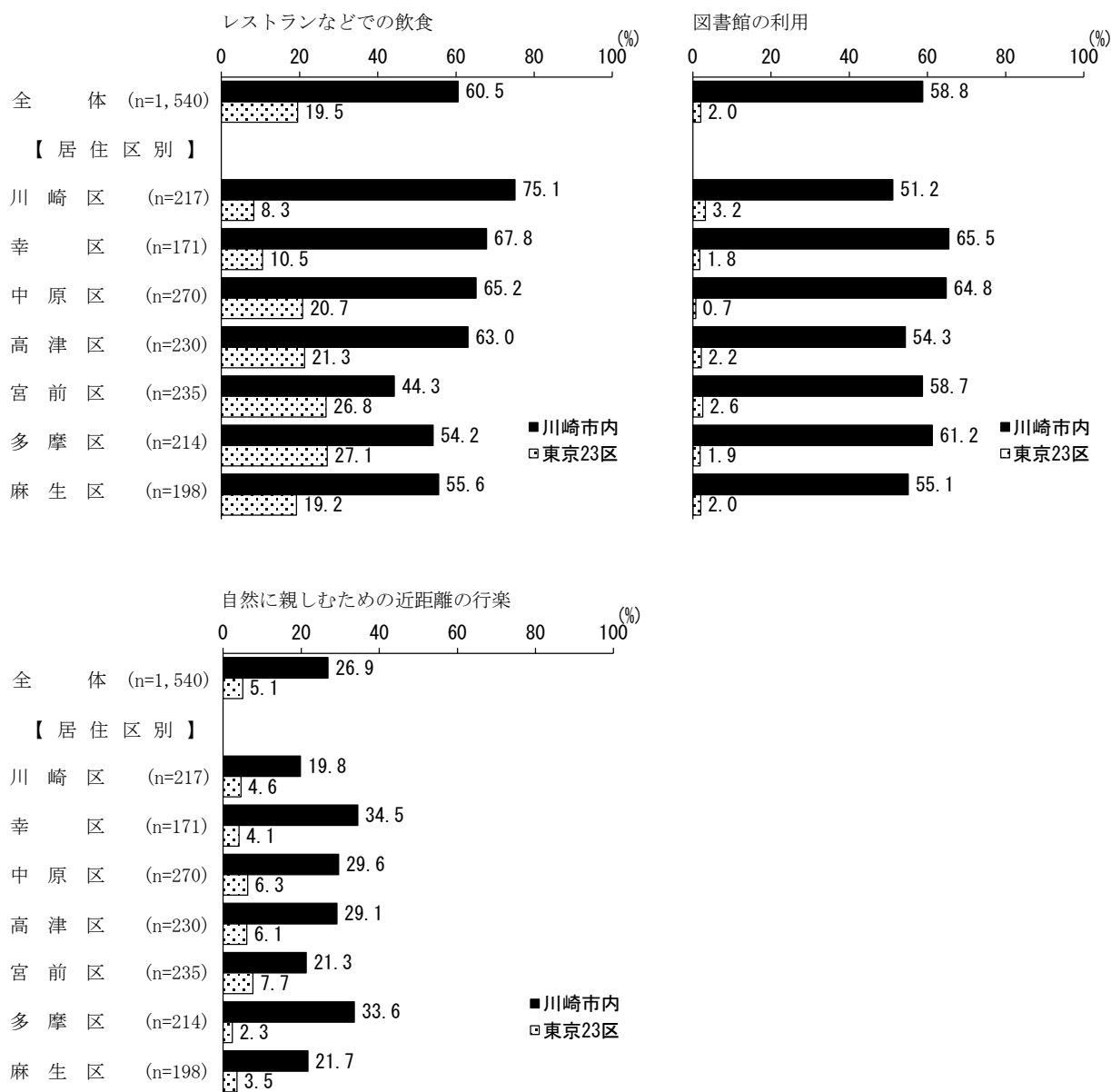
図表3-5 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較）



各項目について、行動範囲別に【川崎市内型】、【東京23区内型】、【非限定型】に分類すると、以下ようになる。

- 【川崎市内型】 ..... レストランなどでの飲食  
 図書館の利用  
 自然に親しむための近距離の行楽
- 【東京23区内型】 ..... 美術館・博物館の利用  
 音楽会や美術展  
 洒落たものや高価なものを買うためのショッピング
- 【非限定型】 ..... 観劇や映画鑑賞  
 スポーツをする（観る）  
 趣味を生かす講習や練習（音楽・演劇・美術等）  
 遊園地や動物園等のレジャーでの行楽

図表3-6 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【川崎市内型】

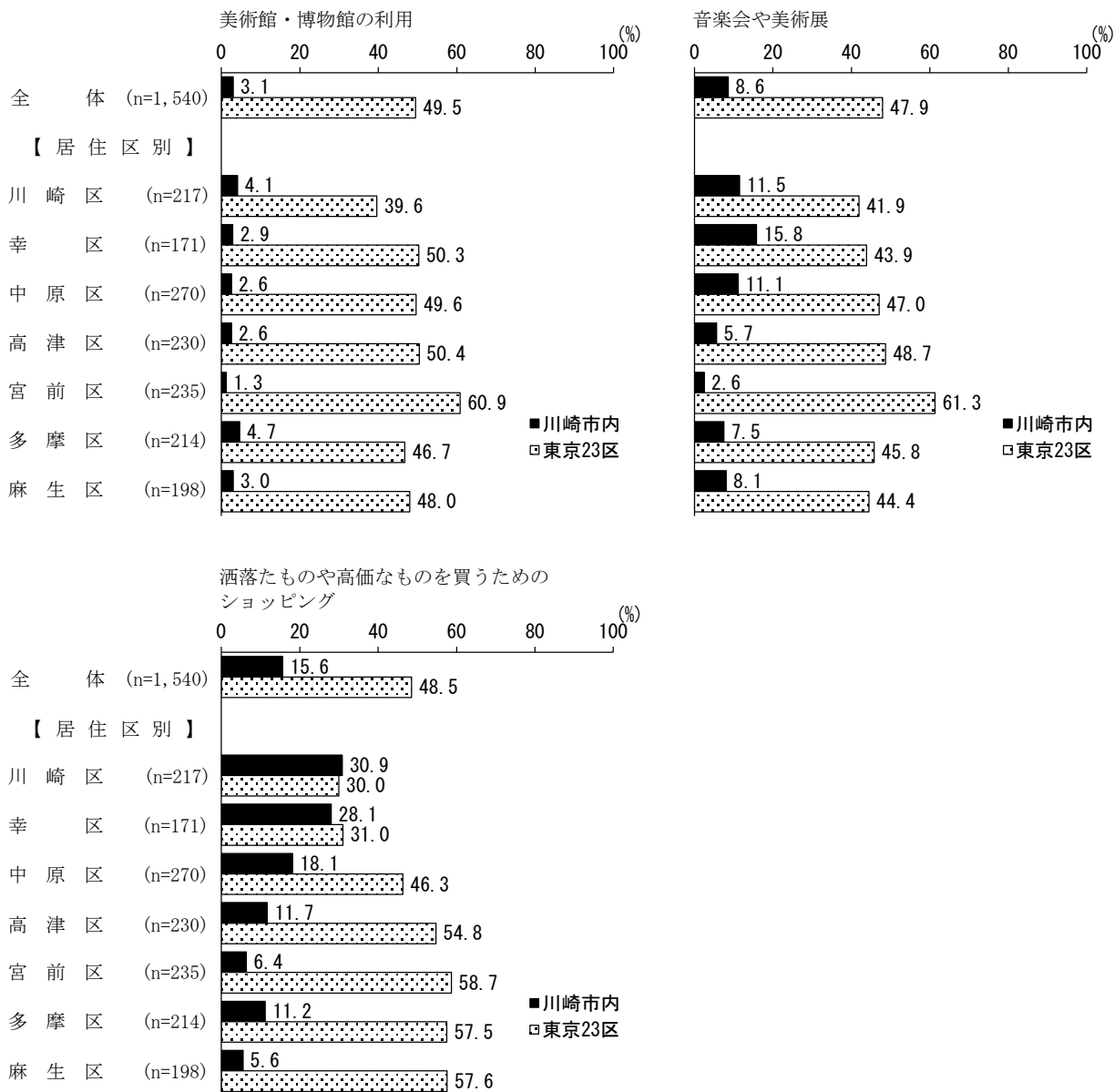


【川崎市内型】に分類した『川崎市内』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「レストランなどでの飲食」は、川崎区（75.1%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、多摩区（27.1%）が最も高い。

「図書館の利用」は、幸区（65.5%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの居住区においても5%未満と低い。

「自然に親しむための近距離の行楽」は、幸区（34.5%）が最も高く、『東京23区』での利用率は、いずれの区においても1割未満となっている。

図表3-7 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【東京23区内型】

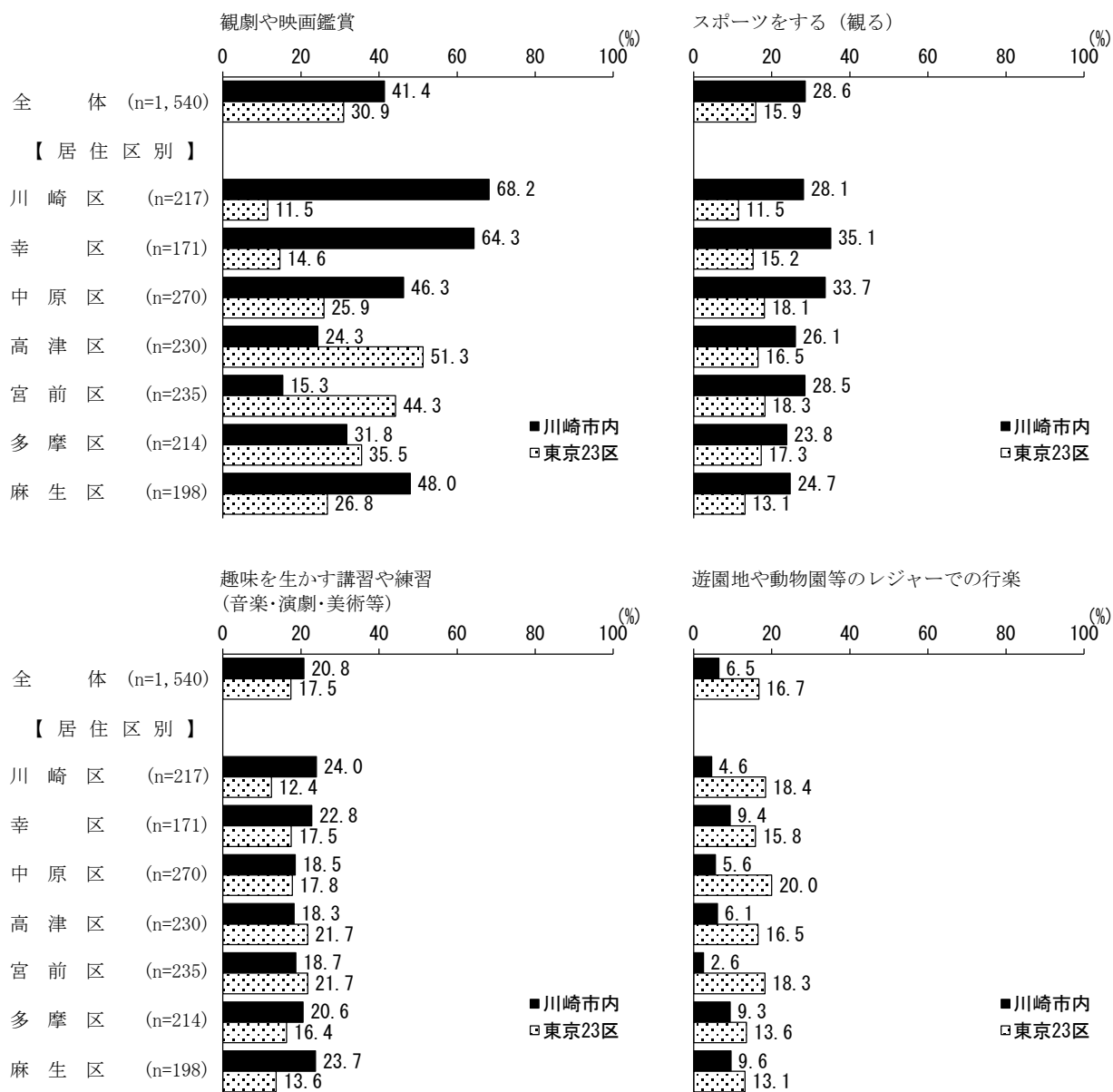


【東京23区内型】に分類した『東京23区』での利用率が高い3項目を、居住区別で比較すると、「美術館・博物館の利用」は、宮前区（60.9%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、いずれの居住区においても5%未満と低い。

「音楽会や美術展」も宮前区（61.3%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、幸区（15.8%）が最も高い。

「洒落たものや高価なものを買うためのショッピング」も宮前区（58.7%）が最も高く、『川崎市内』での利用率は、川崎区（30.9%）が最も高い。

図表3-8 行動範囲（『川崎市内』と『東京23区』との比較、居住区別）【非限定型】



『川崎市内』と『東京23区』どちらか一方に限らず利用があると思われる【非限定型】4項目を居住区別で比較すると、「観劇や映画鑑賞」について、『川崎市内』での利用率は、川崎区(68.2%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区(51.3%)が最も高い。

「スポーツをする(観る)」について、『川崎市内』での利用率は、幸区(35.1%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、宮前区(18.3%)が最も高い。

「趣味を生かす講習や練習(音楽・演劇・美術等)」について、『川崎市内』での利用率は、川崎区(24.0%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、高津区と宮前区がともに21.7%で最も高い。

「遊園地や動物園等のレジャーでの行楽」について、『川崎市内』での利用率は、麻生区(9.6%)が最も高く、『東京23区』での利用率は、中原区(20.0%)が最も高い。